

令和3年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会

- 1 日 時 令和3年7月9日（金）午後7時から午後9時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1001学習室
(東京都調布市小島町2丁目33番地1)
- 3 出席者 利用者 4人
事務局 10人
〈調布市〉
佐々木文化生涯学習課長
〈公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団〉
吉田常務理事、土方調整担当理事、阿部事務局長、大割企画課長、
土井文化・コミュニティ事業課長、藤堂芸術振興事業課長、
佐藤企画課長補佐、常廣文化・コミュニティ事業課長補佐、
岡野芸術振興事業課副主幹
- 4 資 料 令和3年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会
(令和3年7月9日) 要望事項等対応表【令和3年6月25日現在】

《次第》

- 1 開会
- 2 財団挨拶 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項
- 5 懇談
- 6 閉会

○佐藤企画課長補佐

それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和3年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会を開会します。

お手元に配布した利用者懇談会の次第に沿って進行します。

初めに、本日の配布資料を確認します。

1つ目が利用者懇談会次第、もう一つが令和3年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会の要望事項対応表です。

続いて、次第2、財団挨拶、常務理事の吉田から御挨拶申し上げます。

○吉田常務理事

常務理事の吉田です。本日は、お忙しい中、またお足元の悪い中、利用者懇談会に御参加いただき、ありがとうございます。

昨年から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くのことがコロナの影響下に置かれ、市民の皆様にも施設利用の制限など、御不便をおかけしております。まだ予断できない状態が続いていますが、利用者の協力も得て、感染対策をしっかりと行いながら、財団も少しずつ事業を再開しているところです。

この間のことを少し紹介いたします。3月には大幅にプログラムを変更しましたが、第3回シネマフェスティバルを開催し、撮影や照明、美術といった映画製作を担う方へ技術賞を授与しました。受賞作品の上映はかないませんでした。明日と明後日、くすのきホールでゲストをお招きし、トークを交えた上映会を行う予定です。ぜひお越しください。

また、第9回となる調布国際音楽祭を開催しました。昨年はオンラインでの開催でしたが、今年は会場の定員を50%に制限しながらも、生の演奏を届けることができ、音楽の素晴らしさを市民の皆さんに味わっていただきました。特に音楽祭の目玉である、年齢や経歴が多彩な方たちがこの音楽祭のために集う一度限りの演奏となるフェスティバルオーケストラは、大きな感動をもたらしてくれました。

このほかにも、今注目される若手音楽家や読売交響楽団による演奏など、多くの演目が好評でした。また、今年はせんがわ劇場も会場に加え、財団3館のホール全てで実施することができた記念すべき年となりました。

コロナによる影響で、自粛や制限が多い生活が続いていますが、感染対策を行いながら、継続して芸術・文化活動に取り組んでいる方も大勢いらっしゃいます。こうしたときだからこそ、生きる張り合いのあるものを大切にしようという気持ちが強くなっていることと

思います。財団もできる限りの安全・安心な施設運営を行い、芸術・文化活動の支援を行うとともに、地道にしっかりと発信もしていきたいと考えております。

今日は短い時間ですが、有意義な意見交換ができればと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○佐藤企画課長補佐

続きまして、次第3、出席者紹介です。

最初に、調布市側の出席者から紹介します。

生活文化スポーツ部文化生涯学習課・佐々木課長です。

○佐々木文化生涯学習課長

佐々木です。よろしくお願いたします。

○佐藤企画課長補佐

次に、私ども文化・コミュニティ振興財団の出席者です。

常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしくお願いたします。

○佐藤企画課長補佐

調整担当理事の土方です。

○土方調整担当理事

土方です。よろしくお願いたします。

○佐藤企画課長補佐

事務局長の阿部です。

○阿部事務局長

阿部です。よろしくお願いたします。

○佐藤企画課長補佐

文化・コミュニティ事業課長・土井です。

○土井文化・コミュニティ事業課長

土井です。よろしくお願いたします。

○佐藤企画課長補佐

芸術振興事業課長・藤堂です。

○藤堂芸術振興事業課長

藤堂です。よろしくお願いします。

○佐藤企画課長補佐

企画課長・大割です。

○大割企画課長

大割です。よろしくお願いします。

○佐藤企画課長補佐

文化・コミュニティ事業課長補佐・常廣です。

○常廣文化・コミュニティ事業課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○佐藤企画課長補佐

芸術振興事業課副主幹・岡野です。

○岡野芸術振興事業課副主幹

岡野です。よろしくお願いします。

○佐藤企画課長補佐

最後に、本日進行を務めます企画課長補佐の佐藤です。どうぞよろしくお願いします。

続いて、次第4、連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点あります。

1点目、お手元に配布してあります出席者票に記入をお願いします。特に、座席番号の記入忘れのないように、お帰りの際には机の上に伏せてお帰りください。住所欄には町名のみで結構です。もしくは、所属団体名の記入、そして氏名をお書きください。

2点目、この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページで公表し、また、財団報「ぱれっと」には抜粋した形で掲載します。

なお、発言者の氏名は公表しません。

3点目、本日の利用者懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開始30分後に5分ほどの休憩とドア開放を行い、全部で1時間程度の実施とします。また、参加者を制限していることを御承知おきください。

初めて御参加する方もいるので、利用者懇談会について説明します。

日頃、たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場を利用している方々と意見交換し、お寄せいただく御意見などをもとに、より良い運営を目指すことを趣旨としています。ス

一ズな進行を心がけますので、御協力のほどよろしく申し上げます。

昨年11月に行った利用者懇談会での御意見等に関するその後の対応は、お手元の配布資料、要望事項等対応表の右側の欄に、太字下線で「令和3年6月25日現在」と記した対応状況の部分になりますので、御確認ください。

それでは、ここからはお1人ずつ、先ほどの要望対応表についての御質問も含め御意見をいただきます。出席者全員からお話を伺いますので、御理解、御協力をお願いします。全員の方が話す時間を取るため、時間を配分することがあるので、あらかじめ御了承ください。

それでは、時計回りの順番で、私から見て左側のIの席の方からお願いします。お名前を言ってから発言をお願いします。

○I

この会で私たちが何かお願いしても、財団で決められないことが多いと思います。例えば、リノベーションも含めた整備問題で、いつも市の佐々木さんだけが市の進行状況についてお話しくださいます。今度の7月17日に、総合福祉センターの建て替えについての意見交換会が市民全体に呼びかけられています。申込みが必要だったので、行政経営部の企画経営課に出席登録の電話をしたときに、駅前の公共施設を総合的に管理しているところなので、たづくりの利用者懇談会に出てきてくださいと呼びかけました。無理だったのか、この会の性質が分からないと言って、いらっしゃっていないということでした。

今までに何回か出席した中で、質問で記憶していることは利用時間のことなどです。午前中は9時から12時まで、午後が1時半から4時半まででした。午後が4時半というのは、ほかの市区町村ではあまり見たことがない。午後が一番長く使える時間なので、延ばしてくれたらありがたいという意見が結構出ていましたが、それも条例で決まっているから駄目だという話です。

また、この建物の中で一日過ごす場合に、お昼を買ったり食べたりするところがなく、昼食難民でうろうろしなければならない。市役所の食堂もなくなりました。そんな意見についても食品法か何かでできないとのことでした。

ここでいろいろ言っても仕方ないことが多いと思います。ならば、ここではどんなお願いが実るのか。ハードの面は難しいかと思いますが、具体的なことを教えてください。

ただ1つ、今11月の利用者懇談会の記録と対応を見ていますが、LED化の問題は、財団だけでは決められないかもしれませんが、具体的で、しかも経費削減という明らかな

効果があります。市民から見れば、私も僅かながら納めている税金から払うわけで、こういった問題については見積りを取るなどの行動があってもいいと思います。できる問題とできない問題、せつかく年2回あるこういう場ですから、できるだけできることを増やして行ってほしいです。

以上2点についてお聞かせください。

○佐藤企画課長補佐

ただいまの質問は、この懇談会ではどのようなことであれば具体的にかなうのかを教えてくださいという質問でよろしいでしょうか。

○I

はい。

○土方調整担当理事

皆さん御承知のように、利用者懇談会は主として、施設の利用方法に関する意見交換の場です。ここを使っている中で、施設がこうなっていれば使いやすいという意見、例えば手すりをつけてほしい、机を直してほしいなど、まず私たち財団が皆さんの要望を聞きます。これまでも多くの要望に応じてきました。音楽ができる場所を増やしてほしいという意見に対して、できる限りいろいろな部屋を使えるようにルールを見直しました。

財団は指定管理者なので、市の条例に基づいて運営する必要があります。そのほか、施設の大規模改修など、根本的なものについては市に相談します。Iさんがおっしゃったのは、利用区分の時間帯や、グリーンホールの建て替えなど、市に関わってくるものです。それについては佐々木課長からお願いします。

○佐々木文化生涯学習課長

LEDの件は昨年、御要望いただいたところです。今年度、たづくりの比較的大きな改修を実施する中で、併せて諸室の照明のLED化を実施する予定です。

昼食の問題については、コロナ禍においてたづくりの中でも、例えば1階の休憩スペースのようなところで御飯を食べることを控えるようお願いしています。そのような状況で、我々が昼食の場所を提供するのが難しい状況です。

一時期ほかにも、同様の御要望をいただいて、市役所も含めてコンビニ的な機能を入れられないか検討しました。しかし、市役所を含め狭隘化が進んでおり、現時点では、難しい状況ですが、これは引き続きの検討課題としていきます。

また、利用区分の時間の問題も、この利用者懇談会でそういう意見をいただいています

が、本当にそれが多くの利用者の皆様が希望されている意見なのかを我々としてもアンケートなりを取っていく必要があると考えています。この場で御要望をいただいたからといって、すぐに条例改正とまではいきませんので、そこも引き続きの検討課題とさせていただきます。

ほかに、グリーンホールの今後の整備については、ここで議論するテーマではないと考えておりますので、行政経営部がこの場に出席することも考えておりません。今日のIさんの話、私は行政経営部から聞いていなかったのですが、おそらく私に相談があったとしても、行政経営部が出席するような性質の場ではないと伝えると思います。我々が、しかるべきタイミングで検討の方向性を打ち出して、意見交換をしたいと思っています。現状は、先ほどIさんからありましたとおり、総合福祉センターの整備に関する市の考え方を取りまとめている状況ですので、我々としてはその動向について庁内で随時共有しているという状況です。

一方で、グリーンホールの建て替えについて、市単独では財政状況的にとてもできないので、そこは民間活力を活用しながらの建て替えを前提としています。そういった中で、我々としては、これまではオフィス機能とホールの複合施設を軸に検討をしていましたが、昨年来のコロナ禍で、オフィス需要も大分変わっていますので、民間活用、公民連携での建て替えのスキームについて、改めて行政経営部と検証を行っています。

以前申しあげていたスケジュールから更に、グリーンホールの整備に関する考え方の検討について遅れが出ているところは申し訳ないですが、しかるべきタイミングで、市民参加も実践しながら進めていきますので、御理解いただければと思います。

○ I

しかるべき意見交換の場を設けてくれるということですか。

○佐々木文化生涯学習課長

意見交換という形になるか、説明会という形になるかは未定ですが、例えば今回、総合福祉センター側で実施したような手続きを我々も踏んでいく予定です。

○ I

説明会という段階ではなくて、その前の初期の段階から市民の声を聞いてくれると良いなと思います。

○佐々木文化生涯学習課長

我々としても、有識者を入れた検討会を立ち上げたいと考えています。その際は、有識

者に加えて、普段からグリーンホールを使っている方々が中心になりますが、市民の方々にも入っていただく予定です。

公民館・たづくり利用者会議の皆様とは2月に出前講座という形で、行政経営部を含めて意見交換しましたが、同様の形でよければご相談ください。

○I

総合福祉センターの検討会を3回傍聴しました。福祉の専門家とか、利用者の方、当事者の親の会の方とか、それなりの考えを持っている方が出ていました。ただ、一番意外だったのは、地域住民の代表者がいなかったことです。公募で、市民を1人、2人は入れるべきではないでしょうか。私たちは「樹木の会」の者で、広場の検討会を行いました、公募市民を2人入れてくれました。

検討会が始まったときには、総合福祉センターのことについて大枠がほぼできていたようでした。しかし、社協の利用者には、その時点であまり聞き取りをしていなかったようで、いまだにそんなこと知らないという方が大勢いると聞いています。ですから、検討会のメンバーを選ぶときは、できるだけ色々な方面から人を選んで、色々な立場の人を参加させたほうが良いと思います。

条例に基づいていることについては承知しました。条例を変えてくれという大げさな陳情ではなく、努力されて色々変わっていった例もあるということですので、これからもよろしくをお願いします。

○佐藤企画課長補佐

では、Bの方、お願いします。

○B

去年から始まったコロナの問題です。先ほど吉田理事からイベント関係について、たづくりなどで、主催事業として開催されたことが報告にありました。私たちも去年6月にたづくりまつりを開催しました。開催できるのか心配していましたが、たまたま6月から再開したので実施しました。それまでは1,000人以上の住民が来たイベントだったのが、200人台のお客さんになりました。

今年は、その経験を踏まえて感染対策をしながら、600人を超すようなイベントにするつもりでしたが、5月になって、調布の中でコロナワクチンの接種会場を確保しなければならないということで、残念ながら、むらさきホールとかギャラリーが使えなくなりました。直前に大幅な企画変更をしましたが、何とか400人近いお客さんが来て、去年よ

りは一段と充実したものになったかなと思っています。

代替会場がなかったため、公民館にもお願いして当たってもらいました。1か月前で押さえられなかったのですが、たづくりのみんなの広場が使えるそうだという情報をいただき、急遽そこを展示場にしました。今回、私たちは縮小せざるを得なかったが、来場者からは大いに力になったということで、また今年もたづくりの方に大変お世話になりました。

コロナ禍と言いながらも、市民との交流の場は大事だなと、参加者、来館者から改めて聞いています。今、報告書をまとめて、来週早々にはお届けしたいと思っています。来年こそは、コロナの災いのないところでぜひ取り組みたいなど。あいにく、いつも調布国際音楽祭と日程が重なるため、影が薄いかもしれませんが、財政的にみんな手弁当でやっていることですので、ぜひ公民館だとか教育委員会並びに財団の皆さんには、また力を貸していただきたいです。よろしくお願いします。

私たちのところで要求は、グリーンホールの改修についてです。前回同様、総合福祉センターの話が確定しないと新たな検討は条件が整わないようですが、検討委員会も去年のうちからメンバーを検討されていて、グリーンホールの利用団体として文化協会を通して、私たちと同じように発表するグループがメンバーに入りそうだという状況も薄々は聞いています。今、立ち上げがどんどん後ろになっていますが、ぜひそういう利用の立場の人たちの声を吸い上げて行っていただきたいです。

今の規模は難しいと言われていますが、1,300の規模はぜひ守ってもらわないと、イベントをやるのに非常に使いにくいグリーンホールになってしまいます。私たちが取り組んでいるオーケストラやオペラと一緒に進むと、オーケストラピットを潰す必要があるのです。客席が1,000ちょっとになってしまいます。お金の補助が十分でないところは、チケットに反映させなければいけないので、客席数がすごく少ないのは運営が非常に困ります。調布市でも続けていけるような環境をつくっていただきたいです。

そのほか、総合福祉センターが移転した後は、南側の道路が今は一方通行ですが、相互通行になって、13メートルに拡幅されるということでセットバックがどんどん進むという話でした。その分、建てる面積が制限されて広い建物は建てにくくなっています。また、相互通行にすることで、市役所に来る人たちが危険にさらされることにもなります。以上のことから、一方通行のままでも良いのではないかと思います。これは皆さんに話しても駄目なのかもしれません。道路計画などあると思いますが、ぜひそういう点にまで視点を当てて、市として取り組んでいただきたいです。セットバックの条件を緩和すれば、

例えば今の規模のものが建つのであれば、そういうところにも思いをぜひめぐらせてもらいたいと思います。

検討会が延びているのは伺っているところですが、いつ頃始められる見通しがあるのか、もし少しでも情報が分かれば教えていただければと思います。よろしくお願いします。

○佐々木文化生涯学習課長

ありがとうございます。まず、たづくりまつりの件は、急遽むらさきとギャラリーをワクチンの接種会場にすることになり、直前に臨機応変に対応していただいて、ありがとうございました。

グリーンホールの整備の関係には、我々施設所管課としても1,300席を確保できれば良いと思いつつ、色々手法はあると思っています。今は客席が2層という形ですが、3層にするとか、そういった手法も、実際に私ども幾つか他団体の事例を見に行つた中で、そのようなホールもありますので、そこも含めて検討していきたいと考えております。ただ、そうなるとうとうとも財政的な負担の部分も出てきますので、総合的に検討していくしかありませんが、我々の思いとしては、できるだけ現状を確保したいという思いがあります。

また、いつ頃検討会を立ち上げられるのかというところで、先ほど申しあげたとおり、そもそも建て替えが公民連携という手法を前提としておりますので、その実現可能性を改めて行政経営部と検証している状況です。そこが一段落、方向性が見えてきたところで、ホール部分の検討という形になってくるかと思っております。施設全体の事業スキームの中でのホール部分の検討会という形になってくるかと思っておりますので、上半期中に検討会を立ち上げるのは難しいかもしれませんが、なるべく早期には思っています。

○佐藤企画課長補佐

よろしいでしょうか。では、一旦ここで5分間の休憩を取りまして、室内の換気をします。

(暫時休憩)

○佐藤企画課長補佐

では、休憩時間終了として、続きを始めます。

では、Cの方をお願いします。

○C

今回久々です。Cと申します。大分前に来たとき全然来ていなかったのですが、顔ぶれも大分変わったようです。こういう会があるはとても良いことだと思っています。

今の福祉センターの片側通行についての意見です。イタリアとかスペインは50年先を見越して、駅周辺は車を全部追い出したというBSのテレビ放送がありました。ここ10年、20年とかではなくて、もっと長いスパンで調布がどのようになっていくかというスタンスで考えていく必要があるのではないかということ、私たち住民だけではなくて、そこに関わる色々な人としっかりと深掘りしていく必要があると思います。結論を急がずに、話し合いをしっかりとしていく必要があると今の話を聞いて思いました。

ほかに、今、たづくりが50%で運用されているというので、私たち公民館・たづくり利用者会議も、コロナ時期であるにもかかわらずイベントができたこととてもうれしく思っています。ただ、50%の人数制限の中で、感染者が出たのか出なかったのか、50%が果たして良いのかどうかというのが私自身にも分からないので、その辺をお聞きしたいです。

原則、会場の人数の半分と聞くのですが、その中で今、たづくりのコロナ対応で、名前とか電話番号を書いて、その後、何かあったときはそれを追いかける。何かそういう事例があるのか、ないのかを知りたいと思いました。

それから、たづくりとか市民レベルでの文化祭なり、お祭りとか色々なものをやれることが市民の交流にもなりますし、つながりにもなるし、とても大事だと思っています。会場内の広告で、チラシはみんなに差し上げたり、持っていってもらったりするのですが、そのほか、当日たづくりに来られた方に、こういうお祭りがありますよと、外に広告を出せるものがあるとありがたいと感じています。よろしくお願いします。

○佐藤企画課長補佐

事例があったかというところを、まず回答します。

○藤堂芸術振興事業課長

芸術振興事業課では、この間の音楽祭も含めて色々なコンサートや演劇の公演で、お客様の皆さんから連絡先をいただいて、何かあったら連絡するとしています。ただし、これまでそういったことは一回もありません。

○佐藤企画課長補佐

次に、チラシ・ポスターなどの掲示を出せる場所についてです。

○大割企画課長

現実問題で言うと、そのような施設利用者がイベントに関して告知をするような場所の用意はありません。また、そのような場所を新たにどこかに用意することも現実的に難しいと考えています。

○C

たづくり利用者会議も旗を作りました。それは室内、屋外の両方で使えます。それを外や入り口のところに置くことはできないでしょうか。

○B

具体的に言いますと、実は以前にもお願いしたことがあります。建物の中では電光掲示板の周りにパネルを設置したり、色々協力いただいています。通行人が駅前ほど通るわけではないですが、たづくりの東側の広場にある宣伝塔はいかがでしょうか。柱みたいになっていて、今日はたづくりでこういうイベントをしているというものを、例えば主催事業でなくて、一般の利用にも活用できるような、外に出す宣伝物を出してもらいたい。

先ほど言ったのぼりは、東側のところにえねこやという車を用意して、たづくりまつりののぼり旗などを使い、通る人に呼びかけることで、たづくりまつりを目的に来なかった人でも興味を持ってもらうような宣伝活動をやろうと思ったのですが、広場を借りていない限り看板などは置けません。ぜひ、中でのイベントを建物の中だけではなくて、外を通る人たちにも示すような場を設置できないかというのがCさんの言おうとしていたところです。以前、大きな看板を置かせてほしいと言ったのですが、それは主催のものしか駄目だと断られた経緯がありました。

建物の中は、一般の人が四六時中通る場所ではないので、外を歩く人たちがふらっと入ってこられるような宣伝をしたい、そういう思いを酌んでももらいたいです。

○I

主催でなくても後援してくださっているわけですね。

○大割企画課長

以前、外灯のところに四角柱がありましたが、老朽化と安全面を考慮して撤去しました。そのため、私どもの事業でも、あの場での宣伝などについて、今後行わないことになっていますので、その点は御理解ください。

○B

実は、駅前に中央公民館があったときには、あそこを通る一般の人たちが、何をやって

いるのだろうか、そういうことをやっているのかという興味を持ってもらっていました。たづくりは少々奥まっているものですから、散歩がてらに歩く人も多くありません。特に、私たちは土日を中心に催し物を行うため、市役所に来る一般の市民の方もいません。建物に入らなくても分かるような宣伝物を外に出せれば、もう少し盛り上がった宣伝ができるようになります。

調布国際音楽祭のように大々的に開催できるものとは違い、我々はまだそこまで宣伝力がないものから、そういう力を貸していただければというところです。

○佐藤企画課長補佐

ありがとうございました。それでは、続いて座席Kの方をお願いします。

○K

Kと申します。大分前から建て替えするか、しないかということが話題になっていました。5年後にはプランを具体化すると聞いたことがあります、実際はどのような日程ですか。

○佐々木文化生涯学習課長

今、市として公表しているのは、令和元年度に策定した調布市基本計画の中の行革プランに基づき今後10年内を目途とする建て替えを見据えた整備について検討を進めています。具体的にいつというところまでないのですが、令和元年度からおおむね10年間を1つの目安として検討を進めています。

グリーンホールの整備については、総合福祉センターの移転後に、一部道路になりますが、その残った部分も含めての更新という形を軸に考えておりますので、総合福祉センターが移転した後から具体的には建物を解体したりといったところが動いていくと思います。

○K

移転はいつ？

○佐々木文化生涯学習課長

総合福祉センターの移転もまだはっきりとした時期は定まっていません。今、京王多摩川駅前の京王が開発する建物の中に総合福祉センターを設置する方向で検討を進めています。京王の開発のタイミングもありますので、まだはっきりと時期は決まっていません。

○K

それができた段階で移転になるわけですね。

○佐々木文化生涯学習課長

もちろん中では移転に向けた検討はスタートしていますが、総合福祉センターの移転がはっきりした段階で検討を進めていくという形になります。

○K

それは移転し終わった段階で、今度はグリーンホールに取りかかると。

○佐々木文化生涯学習課長

検討自体は始めています。具体的なスケジュールは定まっていますが。

○K

プランはいつまでにおつくりでしょうか。

○佐々木文化生涯学習課長

今、総合福祉センターの市の整備に関する考え方についてパブリックコメントを実施中です。我々としても今年度を目標に、整備に関する考え方のある程度つくり。来年度以降、より具体的に、検討を進めていきたいと考えています。

○K

本年度を目途に考え方をおまとめになる。専門家を入れて？ 役所の中で？ 市民は？

○佐々木文化生涯学習課長

専門家や利用団体の方々を含めた検討会を想定しています。

○K

利用者というのは一般市民と考えて良いですか。

○佐々木文化生涯学習課長

普段グリーンホールを使っている団体を想定しています。文化協会の加盟団体や、定期的にグリーンホールで公演を行っている団体が対象です。

○K

一般市民の参加は考えていませんか。

○佐々木文化生涯学習課長

一般市民の方とはまた別途、検討会という形ではなく、何らかの市民参加、例えば駅広の整備などではオープンハウスの手法を取り入れましたが、そういったところも含めて一般市民の方から意見を広く聞く場面は設けていくつもりではいます。

○I

利用者団体に入っていないなくても頻繁に利用する人とか、一般市民の中にたくさんいます。だから、一般市民の公募の検討委員を検討会の中にぜひ入れてほしいと先ほど申しあげた

つもりです。

○佐々木文化生涯学習課長

要望としては承りますが、ホールの機能部分をメインに検討したいので、検討会のメンバーとしては、普段使っている方々をメインに我々は考えています。

○K

普段使っているというのが漠然としていますが、団体であれば誰でも良いのですか。たづくりではなくて、グリーンホールを利用している人に限りますか。

○佐々木文化生涯学習課長

グリーンホールを利用されている団体の方々から意見を聞きたいと考えています。グリーンホールのホール機能の部分を検討していきます。

○K

それは良いのですが、グリーンホールもコンサートだけ、演劇だけとは限りません。講演会もあるし、小ホールもあるし、機能をあまり狭めないでほしいです。

○佐々木文化生涯学習課長

そういった部分についても、広く市民の皆様から意見を聞く場は設けていきます。

○K

別に？ 一緒に？

○佐々木文化生涯学習課長

はい、今の時点では。

○K

色々な場面でいつも市民が置き去りになりがちなので、何か計画するときは、最初から市民にも情報を出してほしいです。何が起きているか分からないまま、いつの間にか決まってしまうことにならないように。グリーンホールがどうなっていくかというのは、誰でも関心あると思います。

○佐々木文化生涯学習課長

もちろん検討会の場は、先日の総合福祉センターの検討会もそうでしたが、オープンな形で行います。

○K

検討会はオープンに行うのですか。

○I

傍聴を入れるという意味です。

今、自治体で何かをつくったり、まちづくりをするときに、市民参加は欠かせない時代になっていると思います。

そういうことを円滑に進めるための事業を始めている建築家があります。日本建築まちづくり適正支援機構というのですが、どういう形で市民参加を入れていくかとか、どういう形で両方の意見を調整して具現化していくのか。例えば建て替えが良いとか、これはリノベーションが良いとか、そこも含めてよりよいものを目指すという姿勢による仲介役です。建築の専門家が何かを始めるところの相談役になってくれることもあり、アドバイザー役も務めてくれます。

○ I

市では出前講座を開催していますが、調布の中で、どうやって市民を取り入れていくかという経験は、まだそれほどないようです。街づくり協議会もそんなにできているわけではないです。そういうことは実際どうやったら円滑に進むのかということ一度——別に教科書があるわけではないと思うのですが、事例は色々ありますので、そういう場を計画しようかなと思っています。そのときにはぜひ一緒に。

○佐々木文化生涯学習課長

市民参加の手法は様々で、色々な手法を組み合わせながら、できるだけ多くの方の意見を聞きたいと考えています。しかし、何をターゲットに議論していくかでメンバーも変わってくると思いますので、この検討会は少しコアなメンバーでやっていきたいと思っています。広く市民の皆様の声を聞く会は別途つくりたいという中で、今、Iさんがおっしゃった、何か新しい手法があるのであれば、ぜひ私たちも知りたいですし、それがもし活用できるのであれば、そういった方向も検討していきます。

○ C

意見です。街づくり協議会をする場合、市民はそこにずっと住んでいます。だけど、行政の職員の方は3年なり5年という形で異動があったり、替わったりがあって、そこら辺の話が全然つながらないことともあります。みんなでどのように取り組んでいけるのか、同じ地平に立たないと長続きしないという感じもしますので、その点についての工夫と、みんなでどうやったらまちづくりとしての参画ができるのかという話合いの場があると、より活気づく協議会ができるのではないかと思います。よろしくお願いします。

○佐藤企画課長補佐

そろそろ予定の時刻となりました。皆様よろしいでしょうか。本日は多岐にわたり、貴重なご意見を頂戴しました。今後のたづくり、グリーンホール、せんがわ劇場の運営に生かしていきたいと思えます。また、今後何かお気づきの点などあれば、7階の事務室又はお電話でも結構ですので、気軽に声をおかけください。

なお、次回の利用者懇談会は、令和3年11月中の実施を予定しています。今後、ホームページ、広報紙「ぱれっと」などでお知らせします。

以上で令和3年度第1回利用者懇談会を閉会します。本日はありがとうございました。

——了——